

「腫瘍遺伝学セミナー(Nano-LSI Open Seminer)」を開催

2019年2月15日

2月15日(金)に、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、東京大学 医科学研究所 癌防御シグナル分野 教授 中西真先生をお招きして、腫瘍遺伝学セミナー/Nano-LSI Open Seminarを開催しました。

セミナーでは、「老化細胞の代謝特性とSenolysis」という演題で、老化細胞が持つ代謝基盤や、その機序についての説明、これらを標的としたSenolysis開発への可能性について講演していただきました。細胞老化に関する研究背景から新しい概念の確立について、それを示す分子生物学的な知見とともに最新の結果をご紹介頂き、大変有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約50名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



老化細胞の代謝特性とSenolysis

講演者：東京大学 医科学研究所 癌防御シグナル分野
教授 中西 真 先生

日時：平成31年2月15日(金) 16:00～17:00

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

細胞老化はがんをはじめ、様々な加齢性疾患の原因の1つとして注目されています。加齢マウス個体からの老化細胞除去が、これら疾患の発症を予防して健康寿命を延長することから、ヒトに対する老化細胞除去法(Senolysis)の開発が進められています。セミナーでは老化細胞が持つ代謝基盤や、その機序について説明し、これらを標的としたSenolysis開発への可能性についてお話頂きます。

皆様、奮ってご参加ください。

連絡先：大島（がん進展制御研究所・
腫瘍遺伝学研究分野/Nano-LSI）
（内線：6760）